

さくら

題字 足立区長 近藤 やよい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 宮崎 十三
編集 広報委員会
発行日 2014年11月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870

目次

全員研修会	2
新任役員紹介	3
赤い羽根共同募金	4
ゲートキーパー中級研修	5
介護ってなあに	6
子育て応援団	7
編集後記	8



花畑小5年 朝日琴梨 作「ジャングルの動物たち」



全員研修会を終えて

8月7日に開催した全員研修会においては、近藤やよい区長、足立区議会、都民連の皆様、そして三消防署長の皆様をはじめとする、多くの皆様方にご出席いただきました。この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。

アトラクションの部では、東京都民生児童委員連合会福田会長率いる目黒区民生・児童委員コーラス部に澄んだ歌声をご披露いただき、産声をあげたばかりの足立区のコーラス部員の皆さんも、さぞや励みになったのではないかと思います。

全員研修会は、その名の通り、足立区のすべての民生・児童委員と協力員が一堂に会する研修会です。日頃より当協議会にご協力いただいている各団体の皆様をお招きして、足立区の福祉向上のために学習する貴重な機会です。今年度は、近藤やよい区長を講師にお招きして大変有意義な時間を過ごすことができました。足立区の更なる飛躍の

会長 宮崎 十三

ために、私たち民生・児童委員も生活に問題を抱えた方々へ手を差し伸べていくことで、足立区を支えていくのだと決意を新たにしました次第です。

私達は、地域でお困りの方と行政の専門窓口をつなぐ架け橋として活動をしております。悩みごとの話を聞くと、アドバイスをするとき、民生委員としての活動の様々な場面で、常に「私は民生・児童委員だ」として意識して行動・発言できているでしょうか。機会あるごとに自分自身を振り返っていただきたいと思います。

私達民生・児童委員にとって、地域からの信頼に勝るものはありません。地域からの信頼があればこそ、お困りの方の声が私達民生・児童委員の耳に届き、その貴重な声を頼りにより良い活動が可能になるのです。昨年の委嘱状の伝達式の際には、初心に返っていただきたいと皆さんにお願いしました。この一年に一度の全員研修会を機に、私達は地域の皆さんと民生・児童委員として正面から向き合っているだろうかと振り返る機会にさせていただければと思います。



8月7日 民生・児童委員 全員研修会



酷暑の中、恒例の全員研修会が西新井文化ホールにて開催されました。

毎年、足立区内の民生・児童委員が一堂に会し、今後の活動の向上を目指し、都民連役員の皆様そして区関連団体の多くのご来賓の臨席を得て行われます。

オープニングには目黒区民生・児童委員合唱団「スマイリーズ」による「荒城の月」「いのちの歌」など心



温まる歌声の数々が披露されました。

その後、式典は宮崎十三連合会長より主催者挨拶、来賓挨拶、来賓紹介が

ありました。

続いて、民生・児童委員 PR 週間事業で行なった福祉施設へのお米の寄付に対し、社会福祉協議会より感謝状が贈呈されました。

講演会「足立区・更なる飛躍のために」では近藤やよい区長を講師に、普段見逃されている人口減少の推移をもとに区が「今」なすべき課題が提起されました。

治安、学力、貧困に対する負のイメージを解消し、明るく豊かな地域を創る施策に向けたプロジェクトが始動。行政との協議は当然のことですが、民生・児童委員としての役割が大切であると認識を新たにしました。

講演終了後、ミンジー・ビュー坊のキャラクターが登場し和やかな雰囲気に入れ、会場全員で民生委員の歌「花咲く郷土」を斉唱し、今年度も盛会裏に終えることができました。

(13 地区 坂井潤子 記)



目黒区民生・児童委員合唱団「スマイリーズ」

8月の全員研修会では、目黒区民生・児童委員合唱団「スマイリーズ」の皆様が素晴らしい歌声を披露してくださいました。

開演前の忙しい中、団長の山崎ヨシ子様にお話を伺いました。

「平成23年7月に、40名の団員で発足しました。月2回の練習で、『福祉まつり』や『敬老福祉大会』などの折、社協の依頼を受けて歌っております。楽しく活

動しながらも、民生・児童委員の広告塔だと思って頑張っています。」との事でした。

足立区民児協にもこの7月にコーラス部が発足しました。目黒に負けぬ心意気で発進したいと思います。

(9 地区 秋本雅信 記)



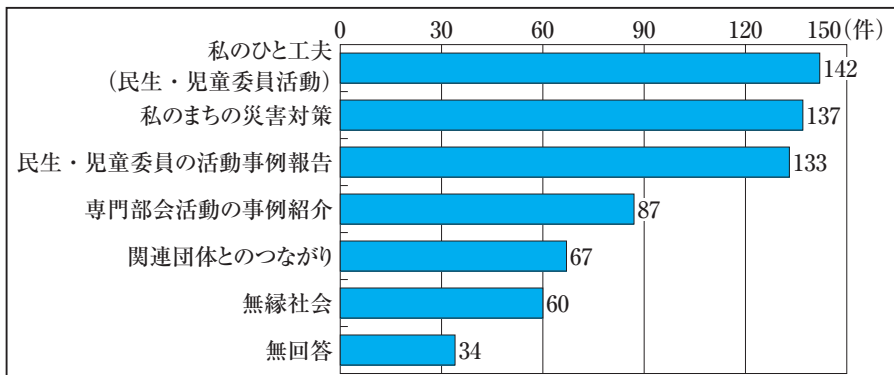
全員研修会「さくら」に関するアンケート

■全体の印象は

良い	77 (20.4%)	やや悪い	1 (0.3%)
やや良い	161 (42.6%)	悪い	0 (0.0%)
普通	130 (34.4%)	無回答	9 (2.4%)

※小数点第二位を四捨五入のため合計が100%になりません

■今後取り上げて欲しい話題は何ですか（複数回答可）



自由意見（抜粋）

- ・子どもたちの作品、短歌などとても楽しみにしています。
- ・民生児童委員のとまどい（疑問など）に対するQ&Aを掲載してほしい。
- ・内容が盛り沢山で編集も大変だと思いますが、あまり詰め込み過ぎると読みたいという意欲が薄れてしまうのでは？とも感じます。
- ・プライバシーの問題もあると思うが、具体的な内容で福祉の問題をテーマに焦点をあてた記事があるとよい。
- ・読むのが民生委員だけでないので、出来るところまで事例を紹介して欲しい。



新任役員紹介



会長職務代理

小久保隆 会長（第二合同会長・18地区会長）



飯塚様は、宮崎連合会長とともに中田特別顧問の志を受け継ぎ、足立区民児協を更なる高みに導くべくご活躍されておりました。突然の訃報に接し、お掛けする言葉も見当たりません。

過日連合会長より、飯塚様の意思を受け継ぐようお話がありました。会長職務代理を立派にお務めいただける先輩合同会長ばかりの中、何故私がとの心境ですが、皆様にもご都合が御有りとのこと、微力の私がお引き受けすることとなりました。ご指導、ご協力頂けます様よろしくをお願いいたします。

第五合同会長

野辺陽子 会長（鹿浜地区会長）



このたび、飯塚会長の後任として第五合同会長をお引き受けすることになりました。

故飯塚会長は、先々、足立区の民生・児童委員協議会を率いる大きな力と志を持った方でしたが、志なかばにして急逝されました。どんなにか無念であったと推察いたします。少しでもそのご意志を継いでいくことができるよう、最善を尽くしてまいる所存です。皆様がたの一層のご指導・ご協力を心よりお願いいたします。

主任児童委員会 小宮謙治 委員長



50名の主任児童委員が、区民の児童福祉の向上のため民生・児童委員とともに活動を開始しました。地域において生活をする中で、あらゆる児童の相談に応じてまいります。将来を支える子どもの健全な育成のため、尽力していきたいと思っています。

「児童生徒のいじめ・不登校を防ぐには！」小・中学

校との連携をさらに深める必要があります。今期も合同別の自主研修会がその役割を果たしていくことになります。また、地域担当民生・児童委員との情報交換をもとに、各地区・各合同活動にも積極的に参画させていただきますので、皆様方の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

区民の皆様も積極的に情報をお寄せください。

広報委員会 秋本雅信 委員長



広報というものを強く印象づけられた体験があります。

視察研修で「静岡県地震防災センター」を訪れた際、偶然にも私の書いた記事のことが施設を案内してくれた女性の口からこぼれたのです。驚きました。彼女はホームページで広報紙「さくら」を読んでいたのです。ネットを通じて配信さ

れる、それはとりもなおさず、見知らぬ人に足立区民生・児童委員協議会の情報が広まっていくことです。わかりやすく、そして何より正確な記事にしなければならぬと強く感じた瞬間でした。

10年以上にわたり、先輩方の築いてきた思いを胸に広報紙作りに励みたいと思います。皆様のご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願いします。

子育て支援研究部会 田中真季子 部会長



この度、子育て支援研究部会の部会長に選任されました。

民生・児童委員となり2期目、初めての部会での大役で不安はありますが精一杯頑張ります。

子育て支援と申しまして私が子育てをしていた頃と違い、時代の変化と共に価値観、子育てに関する考え方、家族構成も変化しています。また、便利な物や

情報も増え過ぎている反面、孤立している家庭もあります。

「地域へ出ていくことができない親への支援を考える」をテーマとして、今年は子育てに関する現状やサービスを知るために講義を受けたり施設を見学したりする計画です。

部会員の皆様のお力を拝借して有意義な部会にしたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

広げよう 地域に根ざした 思いやり



6/1～2 会長協議会 視察研修

6月1日～2日の日程で、会長協議会視察研修が各会長の研修と親睦を目的として36名の参加で実施されました。初日は、世界遺産となった三保の松原へ向かい、砂浜の散策と、焼津市内の「静岡県地震防災センター」の見学でした。南海トラフ駿河湾を擁しているため、その防災意識は高く、センター内の展示は大変充実し



震災対策とねむの木学園について学ぶ

ていました。

宿泊は焼津黒潮温泉「ホテルアンビア松風閣」で楽しい懇親会ができ、それぞれが近しい存在となりました。

2日目は「ねむの木学園と美術館どろり」の視察です。私が20代半ば頃、女優の宮城まり子さんが肢体不自由児のために「ねむの木学園」を創設したという報道がありました。その時強い感銘を受けて、宮城まり子さんという人に対して尊敬の念を持ち、いつかその学園を訪見したいと願っていました。46年経過した学園には拡大併設された諸施設と、情感豊かな展示作品が満ちていました。

芸名宮城まり子さんは、本名本目まり子さんであり、現在87歳、今も園長として日々多忙に過ごしているとのことでした。

(6地区会長 森春枝 記)

赤い羽根共同募金

晴れて気温が高かった前日はうってかわって、10月1日は小雨降る肌寒い朝となりました。

西新井駅の募金は、アリオ側(西口)を13・鹿浜地区、イオン側(東口)を7・8地区が担当しました。都民の日・足立区民の日のため、お休みの学校が多いのでしょうか、子どもさんを連れてギャラクシティ方面へ向かう保護者の姿が目立ちます。

赤い羽根共同募金は戦後間もない昭和22年にスタートし、60年以上たった今も年間200万人のボランティアに支えられています。集まった募金はその地域で「じぶんの町を良くする」ために使われているそうです。



お母さんのまねをして、自分のお財布から次々と小銭を出してくれた女の子。お父さんに抱っこされて、かわいい手で募金してくれた赤ちゃん。たくさんの笑顔とともにさまざまな方々にご協力いただきました。募金とともに、このやさしさや思いやりも届くようにと願います。

(8地区 森葉子 記)

東京都民生委員・児童委員 合唱チャリティーコンサート

6月11日(水)文京シビックホール大ホールにおいて第2回東京都民生委員・児童委員合唱チャリティーコンサートが開催されました。

コンサートは『東日本大震災子ども応援募金』(東京都民生・児童委員が行っている募金活動)に協力して、都民連に16団体あるすべてのコーラス部が歌声を披露し、来場者に東日本大震災の被災遺児・孤児への支援を募りました。

活動歴20年を超えるグループもあれば、昨年発足したグループもありキャリアは色々でしたが、しみじみと聴かせる曲、思わず微笑んでしまうような選曲と楽しいコンサートでした。

またその澄んだ歌声からは皆さんが楽しく活動されている様子が伺われました。

足立区でも宮崎連合会長を中心に、足立区合唱連盟理事長、田口芳子先生(二期会会員)を指導者としてお迎えして、コーラス部『草立コール「絆」』が結成されました。発表が楽しみです。



(6地区 田中礼子 記)



十周年を迎えた第九民友会



私ども第九民友会は、9地区の民生・児童委員、主任児童委員と退任された委員の方々をもって構成されています。発足の目的はみんなで協力し合い社会福祉の理念を受け、日々民生・児童委員の業務を遂行しています。

毎年九月に総会を開催し、会の事業・決算・役員選出等の承認を得て出席者とのコミュニケーションを図り、和気あいあいの内に閉会となります。年に一回研修会として近郊名勝地・目新しい施設等（観光バスを借り）参加者全員で研鑽し会員の知識の習得をしています。慶弔としてお祝い、弔意お見舞いなどをお贈りしています。会費は毎年総会開催時にお預かりして会の運営に充当します。

発足から運営にあたり足立区民児協中田前連合会長のお力添えをいただき、また行政の方々のご協力をいただき運営しております。



西保木間小3年 秋庭佑衣 作「おもしろいきものずかん」

（第九民友会幹事長 原田一夫 記）

お誕生日訪問

次のようなことがあり、一枚のメモに『誕生日に訪問させて下さい』と記入し、投函しました。

昨今、無縁社会という言葉が表すように、ひっそりと生活を営む方々がいらっしゃいます。私自身、どう接したら良いのか悩んでいた時期がありました。

その頃のことです。ご夫婦は二人きりで居住されておりました。近所の噂から訪問するも応答は無く、どうしたものか迷いつつ、伝言メモを投函して帰宅しました。その夕刻、夫と名乗る男性から電話があり、夫婦が抱えている問題が明らかになりました。病気の奥さんを抱えて、夫は精神的に追い込まれ、頭の中が真

っ白になり、誰に相談したものか悩んでいたのです。ちょうどそんな時に誕生日訪問の伝言メモを見たのでした。私は夫にもケアの必要性を感じ、中央本町保健総合センターで保健師に面接してもらいました。夫は涙を流しながら辛い心の内を話し、顔つきも穏やかになり、再びお会いする約束をして帰宅されました。

私は今後も誕生日訪問を継続します。

（東栗原地区 齋藤敏彦 記）



ゲートキーパー中級研修を受講して

足立区では、自殺の兆候を早期に見いだし問題解決につなげる「ゲートキーパー」の研修を行っています。民生・児童委員も区民の方々の相談を受ける立場としてこの研修を受けています。

初級研修では、自殺が強制された死であると認識することと、相談者の話をよく聞くことの二つを中心に学びました。

今回の中級研修は、相談者の悩みの聞き方に焦点を当てて考え、ロールプレイングやDVDを見た後に、グループに分かれて意見を交換しました。

*相談者の言葉をそのまま返すことで、安心につながる。

*沈黙があっても急かしてはいけないこと。

*リスクは評価

はんだん批判せず話を聞く

あんしん情報を与える

サポートを得よう勧める

セルフヘルプ

この「りはあさる」を忘れずに接すること。

これらを丁寧に続けることで、相談者の悩みを区役所などのサービスにつなげられることがわかりました。

相談を受けたときに、今回の講習を生かせるよう努力しなければならないと強く感じました。

（5地区 藪下奈穂美 記）



湊江第一小6年 竹内俊貴 作



介護ってなあに

老後を考える シリーズ1

老健施設見学



千住保健総合センターの健康づくり推進員の方々と千住中居町の千壽介護老人保健施設を見学しました。平成 25 年 4 月に開設したこの施設は入所（1 カ月から 3 カ月）、短期入所、通所、訪問看護、在宅リハビリ等のサービスを提供しています。明るく開放的な安らぎのある空間でリハビリ、運動、レクリエーションプログラムなどが充実していました。住み慣れた地域で楽しく、穏やかに暮らせる素晴らしい施設でした。

介護老人保健施設（＝老健）は、全国に約 3700 カ所あり、都内には 175 施設あります。老健の目的は、『利用者の「自立した生活」を営むことを支援し、家庭復帰を目指します。また、施設は明るい家庭的な雰囲気を

持ち、地域や家庭との結びつきを目指します。』

【老人保健施設 5 つの機能】①包括的ケアサービス施設②リハビリテーション施設③在宅復帰施設④在宅生活支援施設⑤地域に根ざした施設（施設パンフレットより引用）



（常東地区 齋藤祐子 記）

大内病院 オレンジ・カフェ



今や認知症患者は、462 万人、軽度認知障害（MCI）は 400 万人で、65 歳以上の 4 人に 1 人が認知症とその予備軍です。さらに 10 年後には

1,000 万人になると言われています。

大内病院は東京都に 12 カ所ある認知症疾患医療センターのひとつで、併設されているオレンジ・カフェはその患者さんと家族を支援しています。

センター事務局長、井手順子さん（精神科認定看護師／介護支援専門員）からお話を伺いました。

「これだけ認知症の方が増えると、医療・福祉・行政だけでは無理で、地域全体でどう支えるかが課題です。まずは認知症を理解し、地域で支えるしくみ作りが必要です。その一つに認知症サポーター養成講座があるのですが、足立区では 12,851 人（人口比 1.92%）のサポーターがいますが、より多くの人に関心を持っていただきたいのです。だからこそオレンジ・カフェで、増えてきた若い介護者の悩みを受け止めることも重要になってきています」とのことでした。

井手さんは年間 50 回以上も、認知症について、あるいは彼らの居場所となるカフェ普及の出前講座を行っています。志を持った、パワフルな方でした。我々はどうのような形で支援できるのかを考えさせられる時間でした。

（9 地区 秋本雅信 記）

あやせコミュニティパーク

あやせコミュニティパークは、地域密着型（グループホーム・デイサービス）・夜間対応型訪問介護、リハビリ型デイサービス・訪問看護・訪問介護・居宅介護支援、都市型軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅を行っている施設です。

この施設内で 2 カ月毎に行われる会議に、民生・児童委員が参加しています。

会議は、「グループホーム花街道運営推進会議」①過去 2 カ月間の行事実績報告②これからの行事予定報告③事故報告④質問、地域の行事など情報交換をして終わります。

その後、「やなかナイトケア介護・医療連携推進会議」が行われます。ここは 24 時間定期巡回・随時対応型訪

問介護看護サービスを行っています。

現状報告として、定期巡回・訪問介護看護状況説明があります。その後、意見交換して終わります。民生・児童委員として、介護の知識を広げようと参加しています。



（東綾瀬地区 山崎秀夫 記）

足立区は活動記録提出 100% 継続中です



子育て応援団 病児・病後児保育について



足立区では、区立あやせ保育園と西新井きらきら保育園にて登録、有料ですが病後児保育を行っております。

25年度の2カ所の登録は約160名、利用者数56名、延べ利用者134名でした。病気の回復期で集団保育が困難な子、医師が病後児保育を適当と認めた子を預かるのです。

先日、あやせ保育園病後児保育の「すくすくルーム」へ伺いました。副園長を始め、担当している職員の方々からお話を聞かせていただきました。

子どもは熱が下がって少し良くなると、大勢の子の中では夢中に遊んでしまいますが、親としては体を休ませたいという時に預かってくれるのが病後児保育で

あるということが解りました。お部屋も拝見し、駅近くとは思えないほど静かな所で環境も良く、ほっと心やすらぐ思いになりました。

時代とともに、子育てがやさしくサポートされているのを実感し、子どもたちがすくすく育ってくれるのを願っております。



(19地区 高橋和枝 記)

高砂祭囃子保存会

設立は平成7年7月26日、千寿第五小学校が創立70周年を迎えた年です。

当時の校長上原順子先生が記念式典で児童による囃子演奏披露を企画し、私に児童への囃子指導の依頼があり、引き受けました。

上原校長は、囃子担当教員を決め、参加希望の児童募集等、学校全体での協力体制を整え稽古が始まりました。そして創立70周年記念式典当日、児童達は見事な演奏を披露しました。

それ以来19年間、平成11年に足立区郷土芸能保存会に34番目の団体として入会、大人と児童達の囃子演奏活動が続いています。今年も神社の祭りには、社会人・大学生・高校生・中学生となった人達が参加

し、賑やかで、活気のある祭りになりました。

今後は囃子の演奏と共に獅子舞をはじめとする神楽も取り入れ、楽しくて面白い活動を心掛けて行く予定です。

老若男女を問わず、興味のある方の参加を待っています。

(高砂祭囃子保存会会長 田中敏明 記)



花畑小3年 北村貴旺 作

足立区立第四中学校夜間学級

度忘れに

照れて笑って

かき氷

二年 清水 信子

ひとりいる

胸にせつない

秋の夜

二年 春田 周香

盆踊り

こころふわふわ

四時間も

三年 全 正愛

海渡る

我がささやきよ また会うか

三年 ゴンザレス アイ

羽のよう

美しい雲 空にある

三年 于 雪新

友と会う

冷たいビール 一気飲み

一年 申 成姫

敬老の日

ふたり散策 寄りそいで

三年 中原 紀子

中学生俳句コーナー

※足立区立第四中学校夜間学級は、さまざまな理由で中学校を卒業できなかった10代～80代の方が一緒に勉強しています。



ありがとう 故 飯塚 茂 会長職務代理



足立区民生・児童委員協議会会長 宮崎 十三

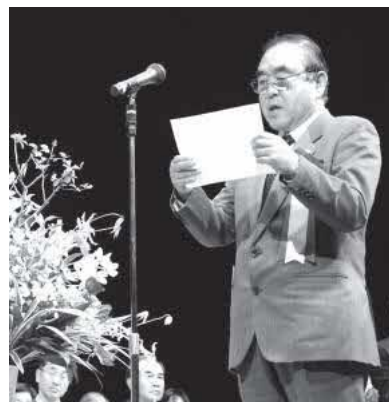


足立区民生・児童委員協議会会長職務代理（第五合同会長・江新地区会長）であった飯塚 茂氏におかれましては、去る平成26年8月22日都民連の会議の席で倒れられ、同25日に薬石効なく永眠されました（享年67歳）。

故 飯塚氏は、足立区をこよなく愛し、足立区を誇りにした熱血漢でした。地域の子ども達のために、PTA会長や開かれた学校づくり協議会会長等を歴任され、健全育成に尽力されてきました。民生・児童委員としては22年余に亘って地域福祉、特に生活困窮者・高齢者・障がい者等の課題に力を注がれ、まさに民生・児童委員としての鑑でありました。足立区の民児協活動では、PR週間活動や被災地支援にも心血を注がれ、平成24年度の東京都民生委

員・児童委員大会では、文京シビックホールにて都知事表彰受賞者1,187名の代表として謝辞を述べ、これからの民生・児童委員活動の姿勢について熱い決意を語られました。

民児協を大切に思い、足立区民児協をここまで育てていただいた方を亡くしたことは誠に残念ですが、彼の遺志を継承して努力していくことをお誓い申し上げ、ここに謹んで哀悼の意を表します。



都大会で代表謝辞を述べる故 飯塚氏

ぶらり足立 花畑（花又）浅間神社祭礼

7月1日は、富士山周辺各地で山開きが行われますが、足立区にも浅間神社があって祭礼が行われているところがあります。

花畑浅間神社（通称「野良浅間」花畑五丁目）では、いまでも富士山の山開きに合わせて7月1日に祭礼が行われます。しかし、隣接市の瀬崎浅間神社では、参加者の日程の都合で7月の最初の土日に祭礼が行われます。

花畑浅間神社は古墳の跡といわれており、また、大鷲神社よりもさきに鎮座していたという伝説があります。

祭礼当日は、旧仲組集落（仲組ズシ）の「旧村人」が9時に、神社に集まり祭礼の準備を行います。神社の飾りつけや、直会（なおりい）の会場づくりが11時ころに完成すると、その後に近くの大鷲神社の神主が

きて祝詞を奏上し、お祓いをします。各自浅間神社の祭神「コノハナサクヤヒメ」に参拝したあとに、お待ちかねの「直会」となり、お弁当、お酒などがでて、親睦を深めたあと、お開きになります。

昔から仲組地区の元旦の初詣コースは大鷲神社、正覚院釈迦堂、浅間神社となっており、今でも崇敬の念が篤い神社であります。

（花畑地区 鈴木恒雄 記）



編集後記

今回、初めて広報委員となって、果たして、その任務が無事つとまるかなと危惧していました。しかし、委員の皆さんの和気あいあいとした編集会議のおかげで、どうにかやっていけそうな気がしてきました。

今年の長期予報では、エルニーニョが発生するせいで冷夏が予想されていましたが、この「瑞穂の国」は例年の暑さとなり、米だけの「食糧安保」は確保されたようです。

（花畑地区 鈴木恒雄 記）

○小学生掲載絵画および中学生詩歌、俳句の依頼は、

第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしております。

○皆様の原稿を募集いたします（原稿は未発表のものに限ります）。次号発行予定日 3月1日

広報委員会

委員長

秋本雅信

副委員長

数下奈穂美

書記

鶴田晴久

会計

金子みどり

編集

小島千恵子

レイアウト

木内信雄

校正

江川明美

編集委員

齋藤祐子

山崎秀夫

田中礼子

渡邊進子

櫻井春子

森原稔子

福井潤子

坂井まさ子

鈴木恒雄

校正委員

秋葉千秋

山本滝子

志賀口博人

久保幸子

福岡佳須子

戸張光子

西野いちよ

高橋和枝